

令和4年度

第2回神崎市地域公共交通会議・第2回神崎市地域公共交通活性化協議会

- 開催日時 令和4年9月28日(水)15時00分～16時30分
- 開催場所 神崎市役所 3階大会議室
- 出席者 [委員] 平石巖(区長会)、岸川政晴(区長会)、重松美文(民生児童委員)、馬場崎安則(老人クラブ)、永沼功(神崎市商工会)、吉原俊樹(神埼町住民代表)、佐藤悦子(千代田町住民代表)、實松英治(脊振町住民代表)、小山淳也(ジョイックス交通)、岡本卓也(西鉄バス)、江上康男(佐賀県バスタクシー協会)、津留崇明(佐賀運輸支局)、中野周史(佐賀国道事務所)、宮崎厚志(東部土木事務所)、鷺崎文徳(神埼警察署)、嶋耕二(市産業建設部長)、中島勝利(市総務企画部長)
計17名出席
- [事務局] 音成栄志、安陪邦勇、執行祐恒

- 傍聴人 なし

- 会議次第

- 1 開会

- 2 報告

- (1) 神崎市公共交通マップの更新について

- 3 講演

- (1) 次期地域公共交通計画の策定に向けた着眼点について

講師 国土交通省九州運輸局

佐賀運輸支局 首席運輸企画専門官 津留 崇明 様

- 4 その他

- (1) 次回開催概要について

- 5 閉会

※ 上記の会議録の内容は別紙のとおり

会議録

1 開会

2 報告

(1) 神崎市公共交通マップの更新について

事務局 説明。

議長 アンケートでご指摘頂いたスマートフォン用の画面表示について、事務局の説明に一点補足するが、神崎市ホームページの閲覧媒体についてもスマートフォン等からのアクセスが増加しており、操作性や表示内容の最適化を図るため、現在改修作業を実施している。巡回バス等の情報についても併せて対応できるよう努めていきたい。

事務局 質疑を求める。

質疑無し。

3 講演

(1) 次期地域公共交通計画の策定に向けた着眼点について

事務局 説明。

講師 講演。

事務局 折角の機会でもあるので、講演内容について質疑などあれば伺いたい。

委員 説明中、物流事業者との連携として貨客混在について触れられていた。現在、市の観光協会では農産物直売所を運営しているが、出店者が減少傾向にあり、生産者に理由を聞くと直売所までの納品が重荷になっているとの話を聞く。
例えば、巡回バス等の空きスペースを活用し、生産者の最寄りのバス停から農産物を集荷し直売所近くのバス停まで届けるといった使い方も想定できるのか。運行事業者における先進事例などあれば併せて伺いたい。

講師 乗合バスにおける貨客混在の取り組みについて、道路運送法上は 350kg 未満の荷物を運ぶことが可能とされている。運送事業者の事例との事だが、例えば西日本鉄道が高速バスの空きスペースを活用し、宮崎県等の農産物を福岡市（天神）へ運び、同社施設（ソラリアステージ）で販売するといった取り組みが挙げられる。

委員 バスの利用者は女性も多いと考えるが、本協議会も含め、女性の構成員が少ないように見受けられる。充て職による委員も多いと思慮するが、例えば構成員として女性を〇名委嘱するなど、他の協議会組織で女性の声を取り入れている事例などあれば伺いたい。

講師 個人的にご質問のような事例は耳にしないが、利用者の声を聞く機会として、協議会そのものの構成員としての参画だけでなく、協議会の分科会やワークショップの中で運行事業者と一緒に利用者（婦人会）の意見を聞くといった方法も検討できるのではないかと。

委員 脊振町内では、学生がバスで通学するのに、自宅からバス停まで保護者が送迎する姿をよく目にする。
次期計画の策定にあたっては、貨客混載や自家用有償旅客運送など様々な輸送資源の有効活用を重点的な課題として取り組んで頂きたい。

4 その他

(1) 次回開催概要について

事務局により説明。

(2) その他

- ・ 神埼町城原地区における取組の紹介
(NORARU を活用した地域独自の移動手段の構築について)

事務局により説明。

5 閉会